



跳

新年、あけましておめでとうございます。

お正月明けの新聞には、会社等の新年の挨拶や今年にける決意などが紹介されています。「うさぎ年ということもあるので“跳”という1字にしたい。大きくジャンプができる1年にしたい」(関西電力社長 八木誠)。「うさぎ年にちなんで、大きな耳を持ってお客様の声を聞いて、うさぎのように大きなジャンプにつなげたい」(トヨタ自動車社長 豊田章男)。「うさぎにまつわる昔話は、あらん限りの知恵を絞る点で共通している。悪知恵でなく良い知恵を皆で絞って、おごることなく正しいことをしよう」(愛媛県知事 中村時広)。

また、元旦の新聞にも、各企業が新年に当たっての決意を表したキャッチコピーが数多く載っています。

- ◇ 未来は、もう、売っている。
<NISSAN>
- ◇ あなたが笑うと、私も笑う。
<Kao>
- ◇ 言葉は、すごい道具になるんだよ。
<小学館>
- ◇ 学力に限りなし。時間に限りあり。
<河合塾>
- ◇ 幸せは、家にある。
<Daiwa House>

数学は、人生の教科書だと思う。「0」(ゼロ)から、すべてが始まる。どんな数も、みんな平等に存在する。数学には、ルールがある。ルールは世界で共有できる。未来を予測することだってできる。ときどき、割り切れないこともある。ミスしたっていい。なやむことは、いいことだ。可能性は無限にある。結果も大切だけど、過程はもっと大切。問題には必ず答えがある。答えを求める姿は、美しい。自分で考えることは、すばらしい。

∧数研出版∨

2011年が皆様にとって素晴らしい1年になるようお祈りいたします。今年もよろしくお祈りいたします。

みとよ・ヤング・エコ・サミットで発表

右の新聞記事にあるように、12月27日に開かれたサミットで、濱上生徒会長と田尾副会長が三豊市内の中学校を代表して、本校の取組を発表しました。下は、その発表で使用したプレゼンテーションの一部です。今後とも、アルミ缶・牛乳パックの回収に、より一層のご協力をいただけるようお願いいたします。

三豊市内の全小中高校の児童生徒が一堂に会し、環境活動について話し合う「みとよヤングエコサミット」が27日、同市高瀬町の市高瀬町農村環境改善センターで開かれた。各学校の代表者が学校で取り組むエコ活動を紹介し合い、今後の取り組みに向け理解を深めた。

サミットは若者から地域のエコの意識を盛り上げよう、と高瀬高校が発案。市内にある小学校25校、中学校8校、高校3校に呼びかけ、この日は各校の代表者ら約200人が参加した。

冒頭、議長を務める同高生徒会長の東川竜也さんが「皆さんの力と意見で地域が変わるきっかけを作り、エコの輪を広げていきたい」とあいさつ。続いて、各ブロックを代表して下高瀬小、詫間中、笠田高が実践する省エネや生ごみ減量を目指す取り組みをアピールした。

全校で協力してアフリカの子どもたちへ靴を寄贈することを決めたほか、物やエネルギー、自然を大切にすることを盛り込んだ共同宣言を採択。世代を超えた若者発の活動に向けて一歩を踏み出した。

※平成22年12月28日四国新聞から引用

環境問題に関する取組	
アルミ缶・牛乳パック回収 毎週水曜日に牛乳パック 金曜日にアルミ缶を回収 体育祭で「車椅子贈呈式」	資源回収 5月、8月、11月、2月の年4回 自治会ごとに実施 地域の一員としての役割
たくま夢街道クリーン作戦 三豊市主催の行事として 夏休みに実施 ボランティアとして参加	町内一斉環境美化活動 7月、12月の年2回 公民館主催で実施 保護者と一緒に参加

お知らせ

2月19日(土)を『浦島デー』(学校開放日)とします。午後から、「授業参観」と「金銭教育講演会」を行う予定です。また、併せて「給食試食会」も行います。詳細につきましては、後日改めてご案内します。